

2022年7月8日 JST COI-NEXT 藤田医科大学キックオフシンポジウム

地域包括ケアシステムによる自分らしい暮らしの継続

藤田医科大学 地域包括ケア中核センター

都築 晃



FUJITA HEALTH UNIVERSITY

藤田医科大学

Copyright (C) FUJITA ACADEMY All RIGHTS RESERVED

地域包括ケアシステムの姿



地域包括ケアの取り組み 「在宅医療・介護連携と人材育成」の実践

・ 2013～ 全国初、大学病院をもつ学校法人が介護保険事業の認可・展開
豊明市を中心に在宅医療（訪問看護・リハ）・居宅介護支援の実践

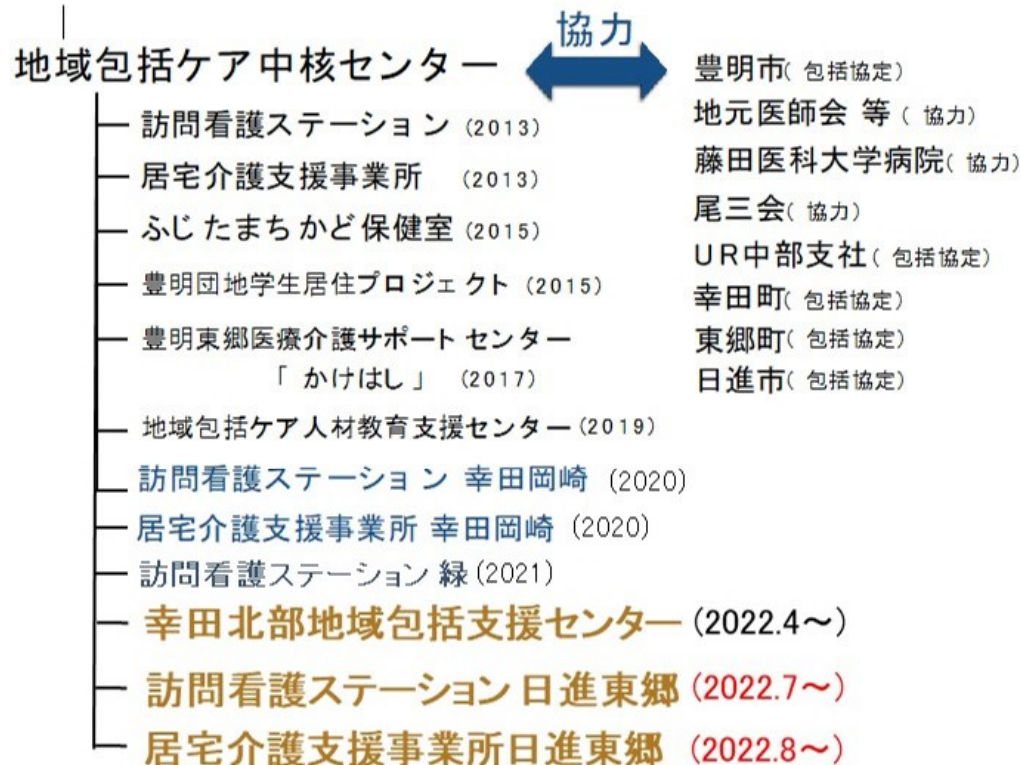
24時間
365日体制

居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションを設置



学園内組織図と関係性

藤田医科大学





藤田医科大学病院



藤田医科大学 ばんだね病院



藤田医科大学 七栗記念病院



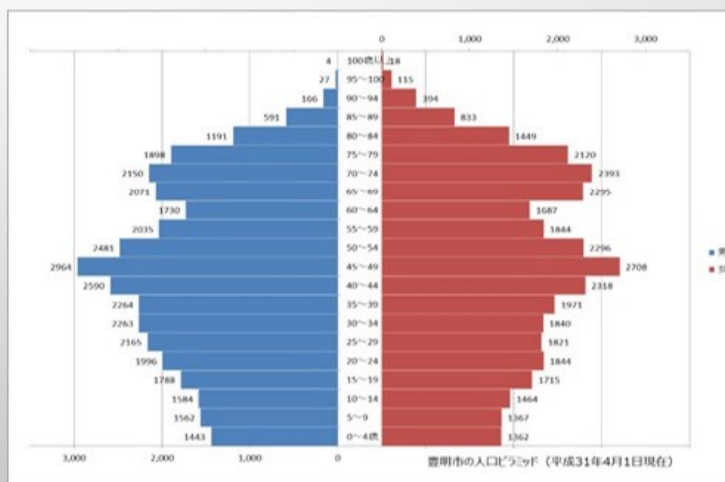
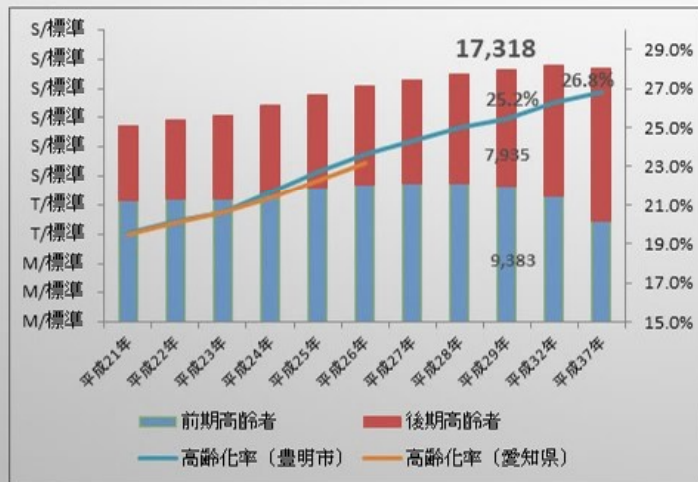
藤田医科大学 岡崎医療センター



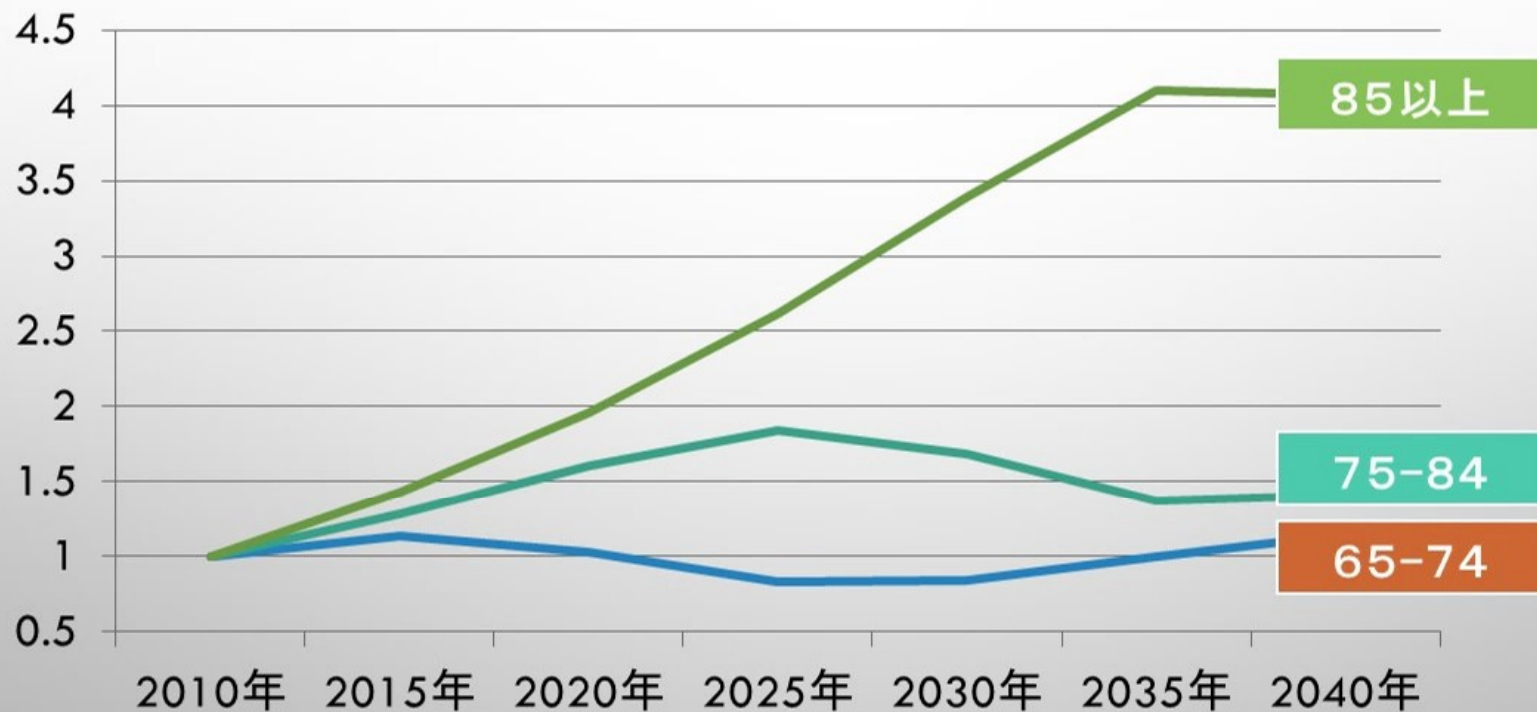
豊明市の概況

- ・愛知県のほぼ中央に位置する名古屋市のベッドタウン
- ・人口 68,827人 (30,235世帯)
- 高齢者人口 17,926人 (令和3年1月1日現在)
- ・高齢化率 **26.0%** (県高齢化率より高い)
- ・人口構成は、前期高齢者に人口の山があり、

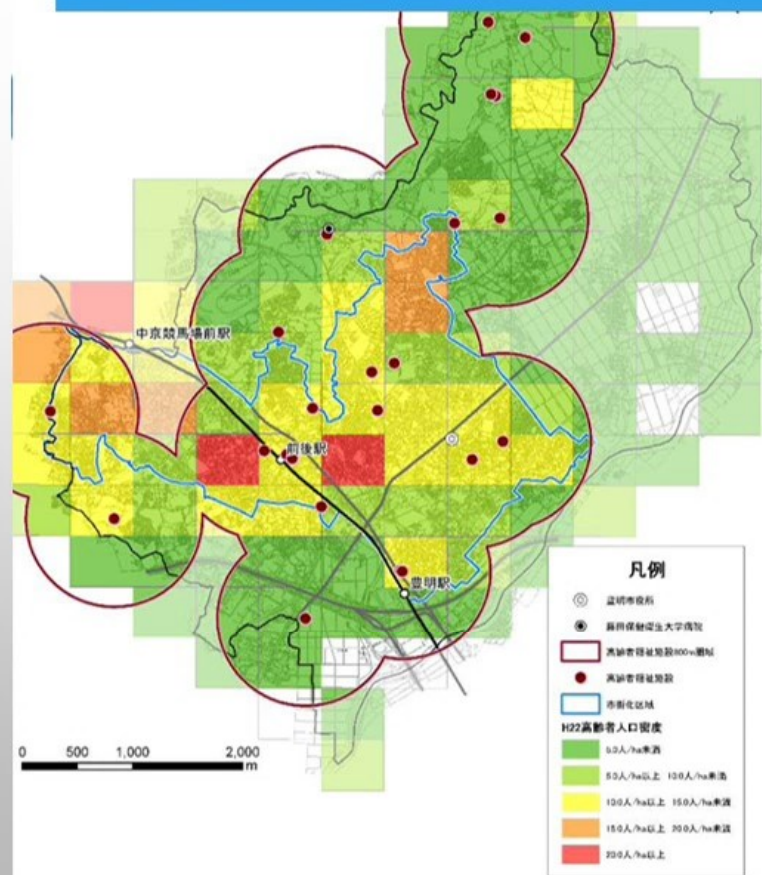
今後10年の後期高齢者の伸びが著しい地域特性



豊明市における年齢別将来人口推計

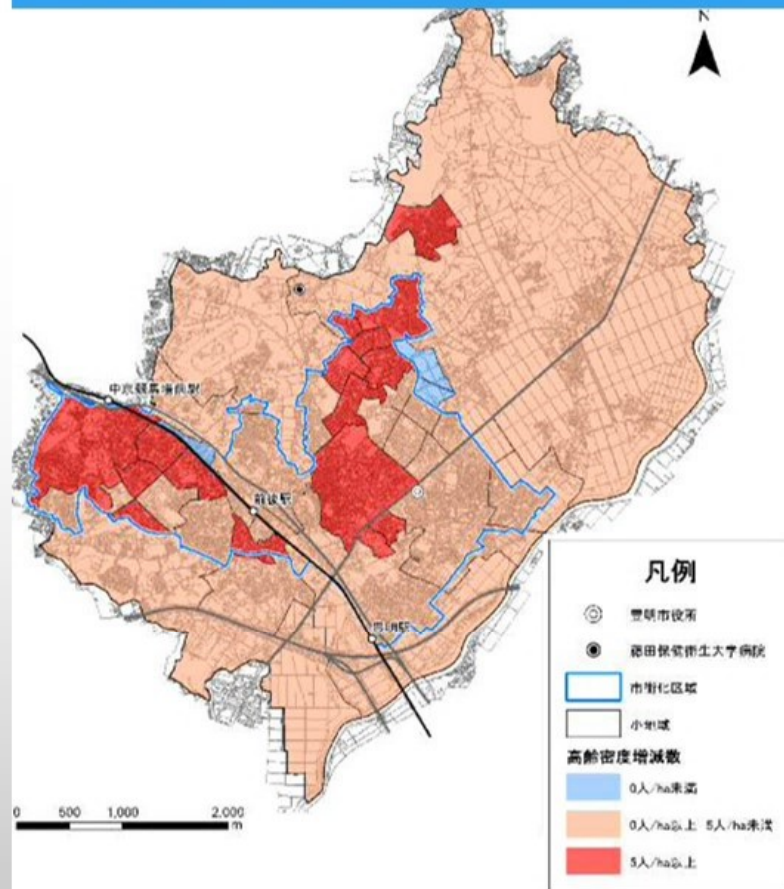


高齡者人口密度と高齡者福祉施設



資料：平成 22 年国勢調査、厚生労働省・介護サービス情報公開システム
※高齢者福祉施設：通所施設、訪問施設、小規模多機能施設

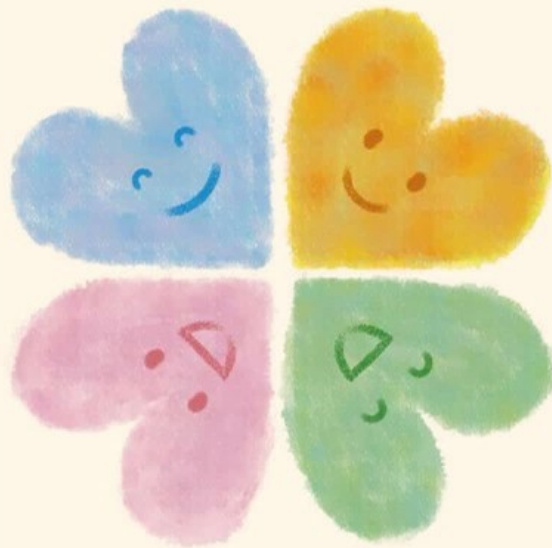
地区別高齢者人口密度増減数



資料：国勢調査

豊明団地

けやきいきいき プロジェクト



豊明市 × 藤田医科大学 × UR都市機構

豊明団地

toyoake danchi

所在地／愛知県豊明市二村台五丁目1-1 他

交通／名鉄名古屋本線「前後」駅バス10分

管理開始／昭和46年

戸数／2,127戸

住宅型式／2DK～3DK (39㎡～51㎡)



けやきいきいき プロジェクト

豊明団地を舞台として、豊明市、藤田医科大学、UR都市機構の3者が相互に包括協定を締結のうえ、団地自治会や商店街、民間事業者とも協力し、地域医療福祉拠点の形成に向けた取り組みを推進しています。

団地内の賃貸施設を活用した医療・福祉機能の設置や大学生の団地居住、団地で開催される各種コミュニティ活動への参加などを通じて、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちづくりを目指しています。





ふじた まちかど保健室

- ・ 実施内容：健康相談、日替わりミニ健康講座、介護予防、趣味や住民交流などを実施。（無料）

- ・ 対応：
看護師、療法士、薬剤師、
ケアマネ、社福祉等
（地域包括ケア中核センター職員）

- ・ 平日 10 時～ 15 時開室

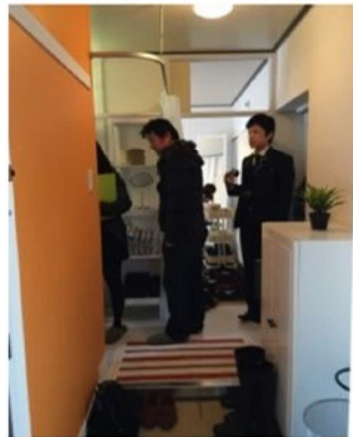
- ・ のべ 25,560 人来室
（平均 22人 /日）

- ・ 健康講座 30回 /月



部屋の初期改装：UR
家賃：大学
運営費：大学
人件費：大学
広報：行政
他団体への折衝：行政

2015年～ 団地4・5階に学生居住開始 のべ 460名以上が居住し地域貢献活動（家賃割り引き）



居住学生による地域活動

一人あたり平均45時間/年

学生と自治会会議



公園清掃



学生による買い物支援



防災訓練



災害時炊き出し訓練



独居高齢者とのふれあい会食



豊明団地夏祭り



ふじたまちかど保健室

商店街54棟106号室

「地域共生社会」実現と、住み慣れた地域で暮らし続けることを支援するため、都市近郊型大規模集合住宅での大学による地域包括ケアモデル（予防・生活支援・住まい側からの医療・介護連携）づくりを目標としています。



自治会主催“ふれあい会食”



とよあけ大金星体操



シニアカーによる移動支援



学生による買い物支援



夏休み寺子屋教室

地域包括ケア中核センターの背景・実績

- 1 地域包括ケアシステムの普及展開には、医療・介護の連携と
予防・生活支援・住まいへの支援と住民互助活動が課題。
- 2 産官学民連携により「豊明団地けやきいきいきプロジェクト」(2015年)
(豊明団地: 15年後の豊明市の未来 市内で最も高い高齢化率、独居高齢者数、外国人数)

「まちかど保健室」(のべ25,000人来室、2,000回の市民健康講座)
「団地居住学生」(のべ居住学生 435人)による地域貢献活動 (のべ17,832時間) 」
先進モデルとして、国内外の行政・大学・民間等から視察
(海外: アジア、欧米より24団体、 国内: 348団体)

- 国土交通省「第2回住宅団地再生会議」(2018年 1月23日開催)
- 2020年 第1回アジア健康イノベーションアワード 優秀賞受賞

要支援者のサービス利用 1 年後重度化率の比較

豊明市			平成 2 8 年 3 月			
			要支援 1	要支援 2	要介護 1・2	要介護 3～5
	平成 2 7 年 3 月		42.9%	29.7%	26.4%	1.1%
全国	平成 2 7 年 3 月	要支援 1	67.9%	19.9%	11.2%	1.0%
		要支援 2	11.3%	67.5%	19.2%	2.2%
			9.5%	62.5%	26.2%	1.8%

要支援者は
1 年後に

要支援 1 の
57%が重度化
27%は要介護
要支援 2 の
28%が要介護

全国値よりきわめて
高い重度化率

※平成27年度 介護給付費実態調査の概況

表 4 要介護(要支援)状態区分別にみた年間継続受給者数の変化別割合

多職種合同 ケアカンファレンス

市が主催する症例検討会議（ケーススタディ型）
平成28年4月から毎月実施。

【目的】

規範的統合（医学モデルから**生活モデル**へ）
自立支援型ケアマネジメントの徹底
多職種の視点による**重度化予防**
専門性の向上と他の職種への**技術移転**

【参加者】

地域包括支援センター、ケアマネジャー
サービス事業所（看護師、リハ職、相談員等）
医師、歯科医師、薬剤師、PT、OT、ST
管理栄養士、歯科衛生士
生活支援コーディネーター、司法書士、
保健師、看護師、MSW
障がい者基幹相談支援センター、
生活困窮自立生活相談センター
その他、大学病院実習生、民間企業 ほか、

毎回50名～70名ほど参加



生活ニーズが分かってはじめて これまで見ていなかった「資源」が見えてくる

事例で磨かれ 「暮らし」が見える

昔カラオケが
好きだった

買い物した
いが、袋を
持って帰れ
ない

ちょっとしたこ
とを手伝って
ほしい

送迎付きの
お出かけ先

自分で歩いて
行ける通いの
場

これ使えるかも



生活支援コーディネーター





まちかど運動教室

毎週水曜日 AM10:00- 西川会館

お近くでみえさんと一緒に運動習慣と体力を作りましょう!!

「老化は仕方ないこと」と考えていませんか?

の骨密度を低下させてしまう最大の原因は、「動かない」「歩くことが少ない」と骨の周りのことや外出しなくなることにより起ります。
まちかど運動教室をきっかけに、老化を助け、健康で長生きできるの力をつくりましょう!

対象 おおむね65歳以上の方
(男女、単身)

場所 市内の地域の集会所・公民館等
(詳細は要約)

内容 1時間程度のストレッチ、筋力アップ体操
(動きの速くても遅くても、ご自分のペースで可動です)

講師 スポーツインストラクター等
(10年以上の運動指導経験)

各地区情報：裏面参照

あなごのみんなの【まちかど運動教室】に関するお問い合わせ
豊明市高齢者福祉課地域ケア推進係 ☎92-1261





生活協同組合
コープあいち

ふれあい便

受付



セット



保冷



配送



お届け



住民が住民の生活支援を実施

互助活動「ちゃっと」

ちょっとした困りごとを住民が手助けする
「有償型の互助活動」(30分1単位 250円)

活動状況(令和4年4月分)

利用者数 120名(延べ327名)※

活動サポーター 112名(延べ337名)



こんなにあったのか！高齢者の困りごと

おたがいさま活動の例

買い物

付き添い
代行



掃除・洗濯

換気扇、窓ふき
浴槽、トイレ
エアコン



ごみ出し

可燃、不燃
資源ごみ
仕分け
ごみ出し



食事の準備

下ごしらえ
調理
調理補助



庭・自宅まわり

草とり、水やり
庭木の簡単な枝落とし
観葉植物の株分け、
間引き
家庭菜園の作業補助



その他なんでも

敷物の交換
カーテンの取り付け
物置小屋の簡単な修理
突っ張り棒の取り付け
重い家具・荷物の移動
郵便物の投函代行
振込手続き
郵便物の仕分け
声かけ(服薬等)



外出同行

外出付き添い
通院同行
大学病院受診支
援



民間事業者と連携により実施した事業の一例



温泉施設で理学療法士による健康講座
楽の湯(株)ナカシロ



カラオケボックスを利用した体操教室
(株)東海第一興商



インストラクターによる健康講座
Curves前後駅前店(株)だるま



市主催の運動教室での健康チェックと商品説明
森永乳業(株)中部支社

～高齢者に移動の自由と健康を～ 民間主体の健康増進 乗合い送迎サービスの共同運行

平成30年7月24日より豊明市一部地域でサービス開始



チョイソコが目指すもの 通いの場と通う手段を地域ぐるみで創り出す

高齢者の外出促進のプラットフォーム



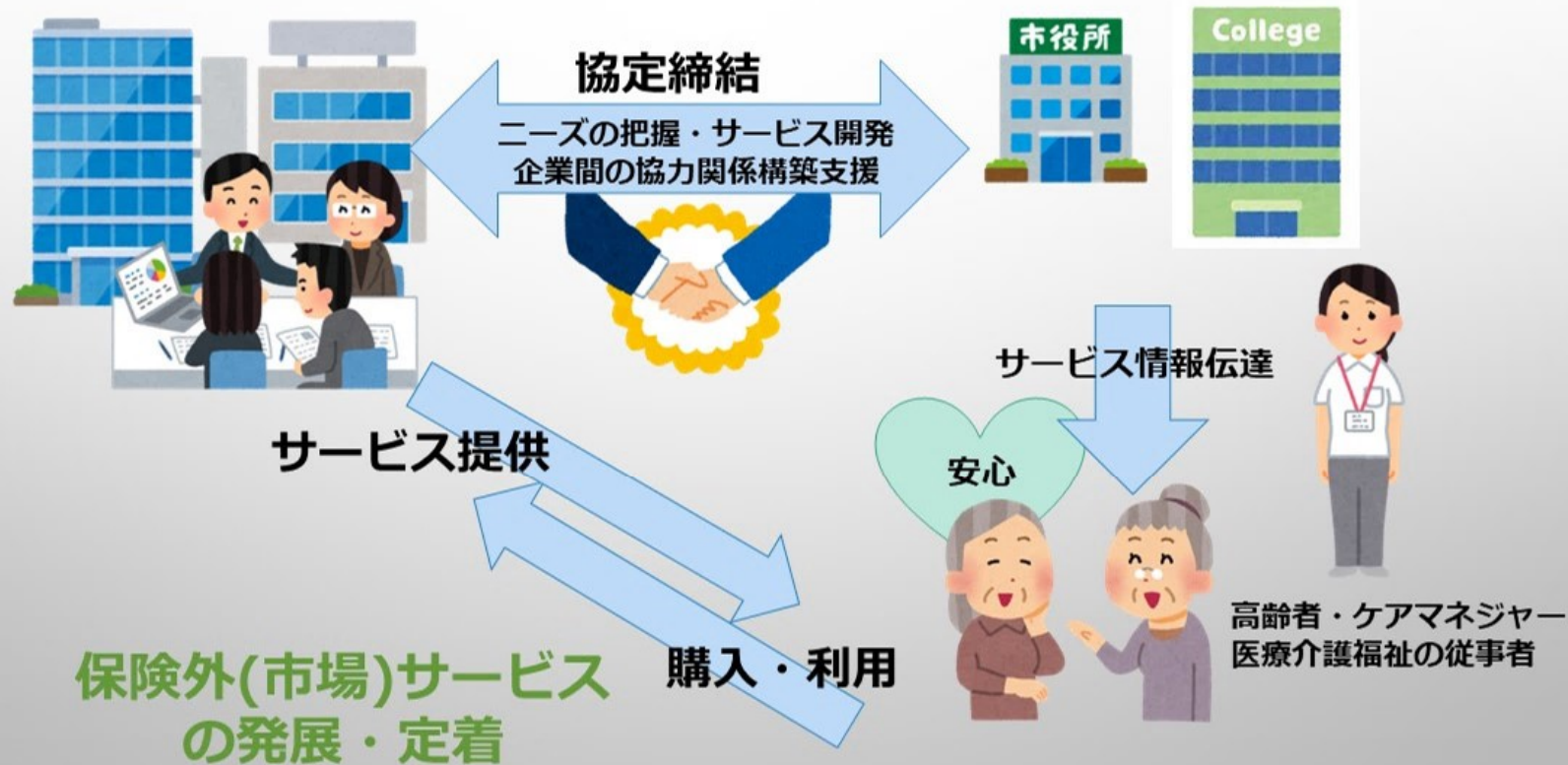
- ・外出のハードルを下げることで、**外出機会が増え、介護予防・健康増進**に貢献
- ・近所の方と**顔合わせの機会が増え、自然に地域のつながり**が生まれる

- ・地域のタクシー会社と提携し運行することで**既存公共交通とwin-win**の関係を築く

- ・“**通いの手段**”確保による高齢者の**固定客確保**
- ・高齢者向けの**新たな販売促進企画**

民間企業による 高齢者向けサービスの開発

自治体・大学・地域による サービス創出・活用支援



地域包括ケアを創るための手順

個別→地域課題
資源・情報・力を集め

集約



地域へ広げ

分散

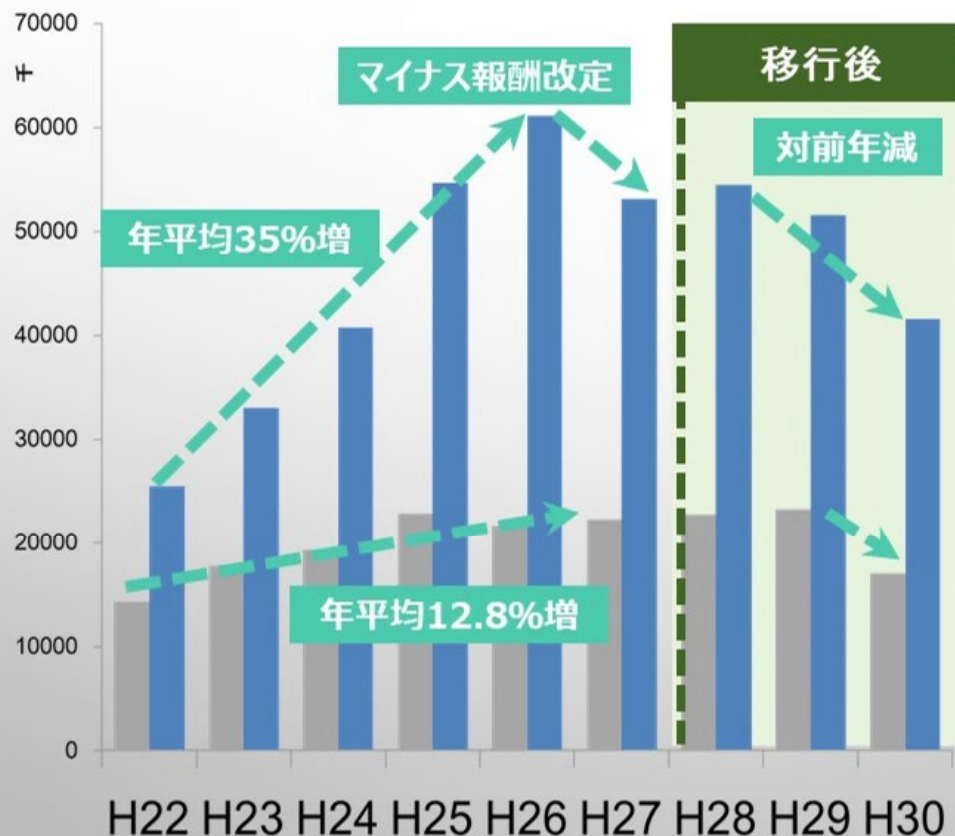


使いこなす

個別化

ケアの目的を共有
地域全体が同じベクトルへ

総合事業移行後の訪問・通所サービス費の推移



H30年度給付費

通所サービス

移行前年(H27)比

-21.7%

訪問サービス

移行前年(H27)比

-23.7%

支援やサービスが
多様化し
利用が分散された

要支援者のサービス利用 1 年後重度化率の比較

豊明市			平成 28 年 3 月			
			要支援 1	要支援 2	要介護 1・2	要介護 3～5
	平成 27 年 3 月	要支援 1	42.9%	29.7%	26.4%	1.1%
			↑			
豊明市			令和 4 年 2 月			
			要支援 1	要支援 2	要介護 1・2	要介護 3～5
	令和 3 年 2 月	要支援 1	54.7%	13.5%	13.0%	2.2%

要支援者は
1 年後に

要支援 1 の
57%が重度化
27%は要介護

要支援 1 の
29%が重度化
15%は要介護
17%は非該当
(改善者含む)

地域包括ケア中核センターの背景・実績

- 4 多職種連携による個別事例検討会議(多職種合同ケアカンファレンス)や生活支援・民間連携により
 - 内閣府 「第11回経済・財政一体改革推進委員会」(2016年6月17日開催)招聘
 - 内閣府 未来投資会議構造改革徹底推進会合「健康・医療・介護」会合(第3回)(2017年12月14日開催)
 - 厚生労働省老健局振興課「これからの地域づくり戦略」(2019年)好事例モデルとして複数取り組みが掲載され全国自治体に配布
 - 「自治体視察件数全国トップ(2020年)」
- 5 大学による「自治体向け地域包括ケア人材育成研修」を实践(2019~全国52自治体)

これからの 地域づくり戦略

集い・互い・知恵を出し合い

3 部作 1.0版

出典: 2019.3.30 厚生労働省web

生活支援コーディネーター(SC)・SC協議体の活動例(1)

生活支援コーディネーターの活動例(愛知県豊明市)

地域資源の把握

・地域の集会所等でのサークル活動、お店の貸スペース、高齢者がよく行く店、使うサービス等を把握。



足りない資源の創出

・市内の喫茶店を常連客の見守り喫茶店「ホッカリカフェ」に位置づけ、周知。



地域ケア会議への出席

・把握した資源の情報を提供。会議のやりとりが、足りない資源の創出につながることも。

生活支援コーディネーターの1ヶ月の活動例(岡山県倉敷市)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

地域ケア会議 | ①豊明市の例

豊明市の地域ケア会議(多職種共同ケアカンファレンス)の概要

- 【目的】自立型ケアマネジメントの強化、歩路館の視点によるケアの質の向上
- 【開催】要支援・事業対象者(月1回・1.5H・4ケース)、要介護(月1回・1.5H・2.5H・2ケース)
- 【参加者】市、地域包括支援センター、ケアマネジャー、介護サービス事業所等、医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、保健師、看護師、歯科医、歯科衛生士、生活支援コーディネーター、司法書士、社協、民間企業等



人口 68,728人 (30.4)
高齢者人口 27,484人
高齢化率 25.4%

ポイント1 | 明確かつ簡潔な論議の設定

会議における議論のポイント

①本議の課題は何ですか?

本人にとっての自立は? 自立を阻害する要因は?
(現状とありたい姿のギャップから課題を設定)

②本議に解決できそうですか?

サービスは現状とありたい姿のギャップを
本気で解決できるのか?

- ※ 会議の暮らしを振り返る(自己) 支援とは
- ① 現状分析(「なぜ今の状況になったのか?」)
 - ② 目標設定(「どんな暮らしを目指すのか?」)
 - ③ 「本日の課題」の抽出(「取り組むべき課題は何か?」)
- を検討することで、本人や要介護者(要介護者)の行動変容を促すことになる。

ポイント2 | 他の事業との連携

歩路館によるカンファレンスを行うことで、医療介護連携、総合事業、認知症地域支援、生活支援体制整備事業等の市町村が実施する事業が図れる。



互助を見つける | 参考事例

民間企業(愛知県豊明市の例)

高齢者の暮らしにこそきこまれる生活支援や健康寿命延伸に寄与するサービスを展開する民間企業に市から声を掛け協働の場を設けた。その後、個別に市とサービスの協働を定めた。

協議の場

参加者

リサイクル業者、フィットネスクラブ、掃除サービス業者、食品メーカー、スーパー、天然温泉施設、カラオケ施設、学習塾、介護事業所、地域包括支援センター等。

協議内容

園の内部、市の高齢者の状況、高齢者のニーズ、民間サービスの利用のしやすさなどを協議。



民商事業者との連携により実施した事業の一例



健康検診での健康検診



カラオケボックスを利用した健康検診



インストラクターによる健康検診



市街の運動教室での健康チェックと食品試食

地域包括ケア人材教育支援センター

目的: 自治体職員等の教育支援

高齢者の生活を支える
**実践型 地域づくり
支援プログラム**

地域包括ケアの推進に向けた新しい市町村支援を始めます

セミナー開催日(全5回/1回2日間)

第1回 令和元年 9/12(木) 13(金)	第4回 令和元年 12/17(火) 18(水)
第2回 令和元年 10/ 8(火) 9(水)	第5回 令和2年 1/30(木) 31(金)
第3回 令和元年 11/13(水) 14(木)	

実施主体
NTT Data 株式会社NTTデータ 経営研究所
藤田医科大学 地域包括ケア人材教育支援センター

協力機関
厚生労働省老健局振興課、東海北陸厚生局、豊明市

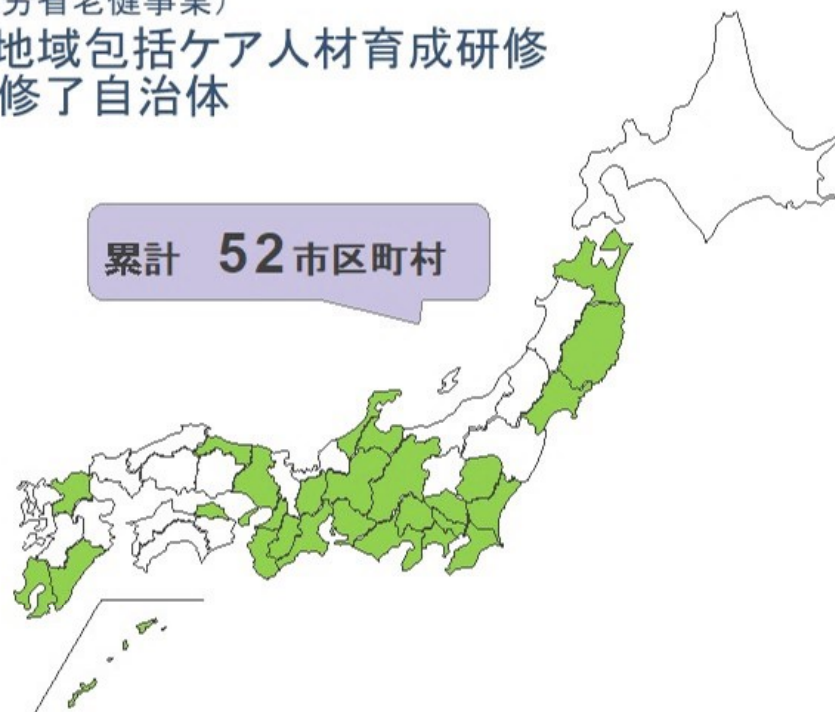


研修成果を報告する自治体職員

日本で初めての試み 2019~

地域包括ケアを担当する
自治体職員等をのべ6か月間の長期教育.

地域包括ケア人材教育支援センター主催 (厚労省老健事業) 自治体職員向け 地域包括ケア人材育成研修 の修了自治体



2019年度受講市町村

2020年度受講市町村

受講市町村一覧			
青森県	三戸町	愛知県	安城市
	田子町		半田市
岩手県	北上市		日進市
宮城県	東松島市		東郷町
	大崎市		長久手市
栃木県	足利市	三重県	津市
茨城県	つくばみらい市		大台町
埼玉県	ふじみ野市		玉城町
東京都	豊島区		森名市
神奈川県	横須賀市		羽野町
	鎌倉市	石川県	小松市
	大井町		野々市市
山梨県	中央市	富山県	高岡市
	笛吹市	滋賀県	草津市
長野県	御代田町	大阪府	茨木市
	池田町		泉大津市
	須坂市		能勢町
静岡県	熱海市	奈良県	広陵町
	吉田町		黒滝村
	沼津市	和歌山県	中本町
岐阜県	垂井町	兵庫県	洲本市
	岐南町	鳥取県	鳥取市
	各務原市	香川県	三木町
	中津川市	福岡県	岡垣町
	大垣市	宮崎県	新富町
愛知県	西尾市	鹿児島県	奄美市

COI-NEXT

藤田医科大学

「家族が繋がる、人とIT技術等が共生する健康街づくり」

地域包括ケアの文脈から
目指す姿は何か？

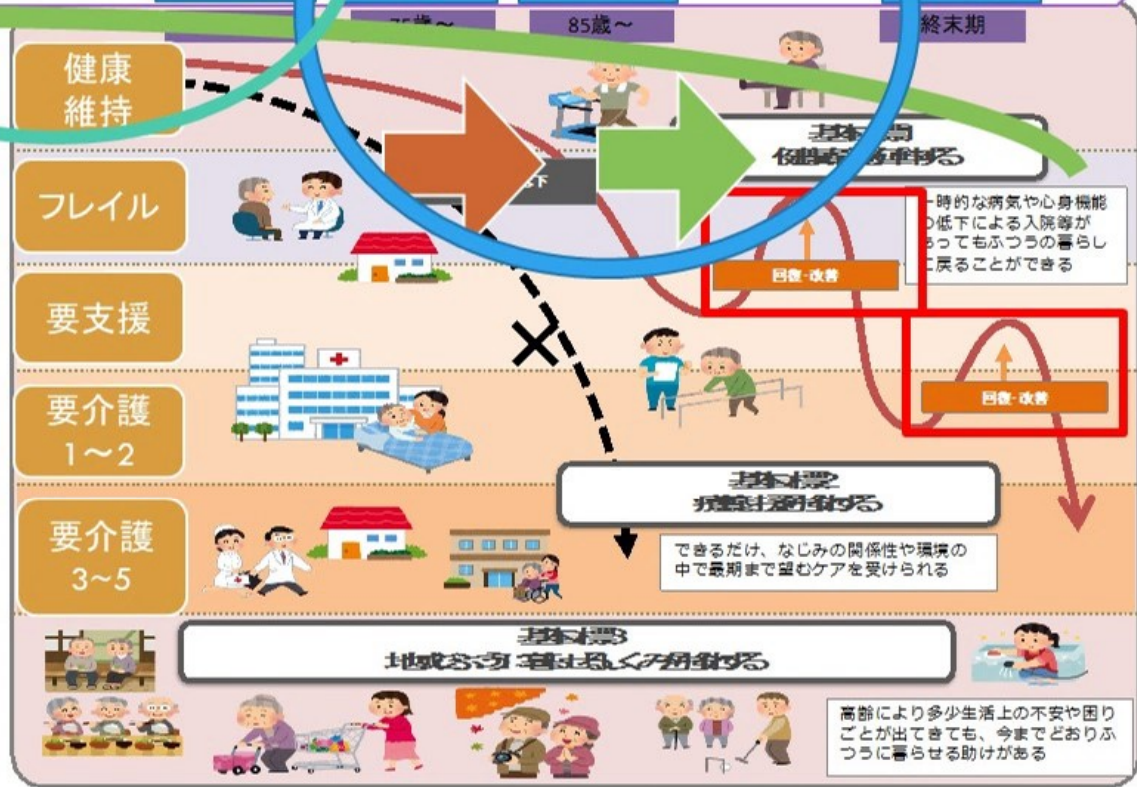
目標 vision 高齢者の暮らし



豊明市の地域包括ケアにより
市民の健康寿命が延伸。

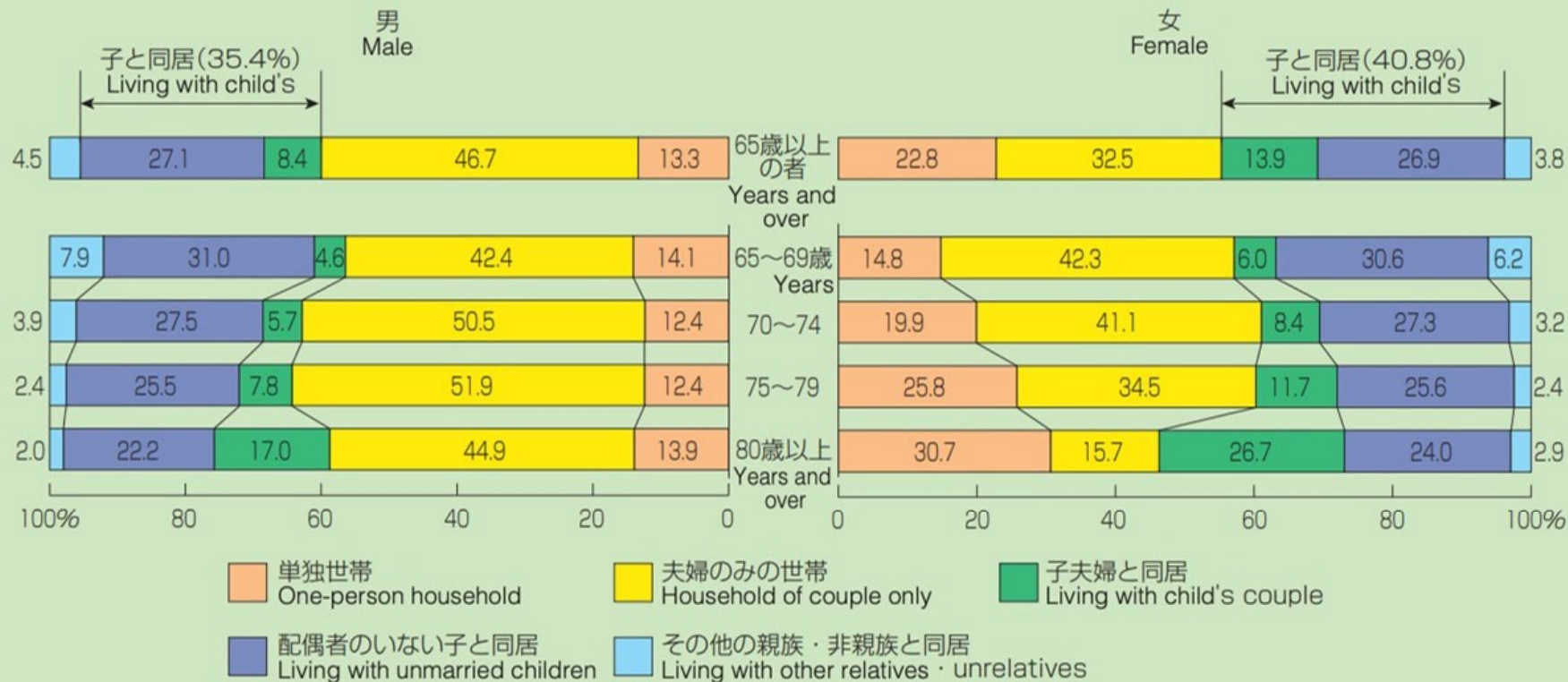
増える独居・老老、生活習慣病。
病気や障害があっても、
自分らしい暮らしの継続。

若い世代は、住むだけで
自然に健康に。
高齢者は健康寿命も延び、
長生きを喜ぶ幸せな町に。

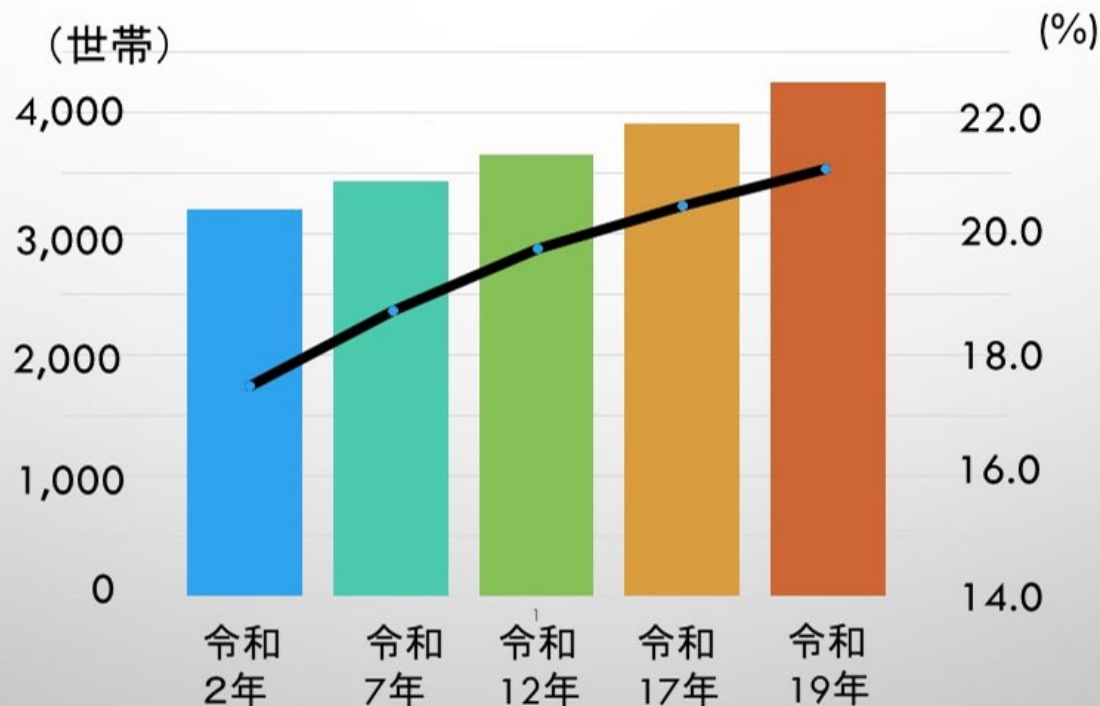


豊明市の「地域課題」とは？

性・年齢階級別にみた65歳以上の者の家族形態



高齢者単独世帯数と割合の推計



高齢者福祉計画・介護保険事業計画
見直しのためのニーズ調査結果
報 告 書

令和2年3月
豊 明 市

在宅介護実態調査
対 象：
要介護1～5の認定を
受けている人を担当する
ケアマネ事業所
回収率(96.3%)
1,330 票

住民健康実態調査
対 象：要介護1～5の認定を受けていない
65歳以上のすべての市民

回収結果

配布票数		回収数(率)		有効回収数(率)	
15,781	票	11,392	票 72.2 %	11,390	票 72.2 %

豊 明 市
第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画

【令和3(2021)～令和5(2023)年度】



令和3年3月
豊 明 市

3年前の第7期計画作成時にも
悉皆調査を実施。同一人物の追跡調査。

豊明市の3圏域



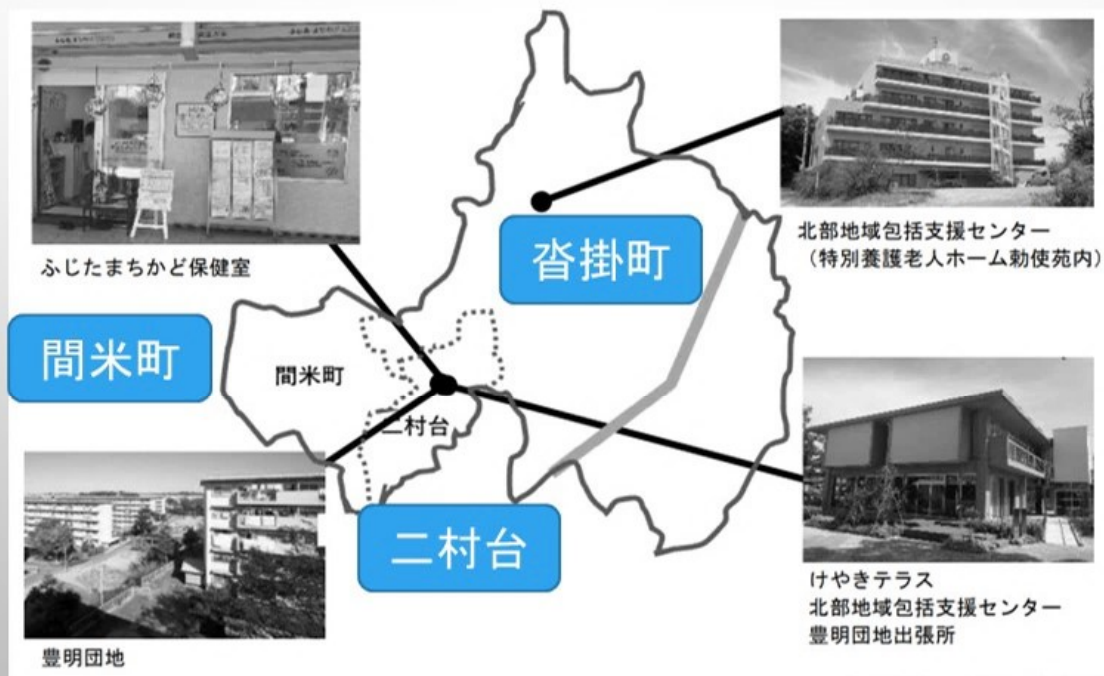
	北部圏域	中部圏域	南部圏域
地区(町名)	沓掛町、二村台、間米町	新田町、大久伝町、阿野町、西川町、三崎町、前後町	栄町、新栄町
人口	19,134 人	29,618 人	20,176 人
高齢者人口(高齢化率)	5,400 人(28.2%)	6,981 人(23.5%)	5,546 人(27.4%)
65 歳以上 74 歳以下	2,593 人(13.6%)	3,433 人(11.6%)	2,601 人(12.9%)
75 歳以上 84 歳以下	2,057 人(10.8%)	2,616 人(8.8%)	2,219 人(11.0%)
85 歳以上	750 人(3.9%)	932 人(3.1%)	726 人(3.6%)

資料:住民基本台帳(令和2年 10 月現在)

北部圏域

人口	高齢者人口(高齢化率)	要介護認定者数(認定率)
19,134 人	5,400 人(28.2%)	842 人(15.6%)

資料:住民基本台帳、豊明市介護保険認定情報(各令和2年10月現在)



豊明団地における高い単独率

町名	人口	高齢者数	高齢化率	後期高齢者数	後期高齢者率	高齢世帯数	高齢世帯率	高齢単独率	要介護認定率
二村台 3・5・6 丁目	4,364	1,230	29.9~ 25.6	628	13.9~ 11.5	136	7.9~ 5.8	26.9~ 18.1	18.6~ 15.1
豊明市	68,839	17,945	26.1	9,329	13.6	1,757	5.8	10.1	15.9

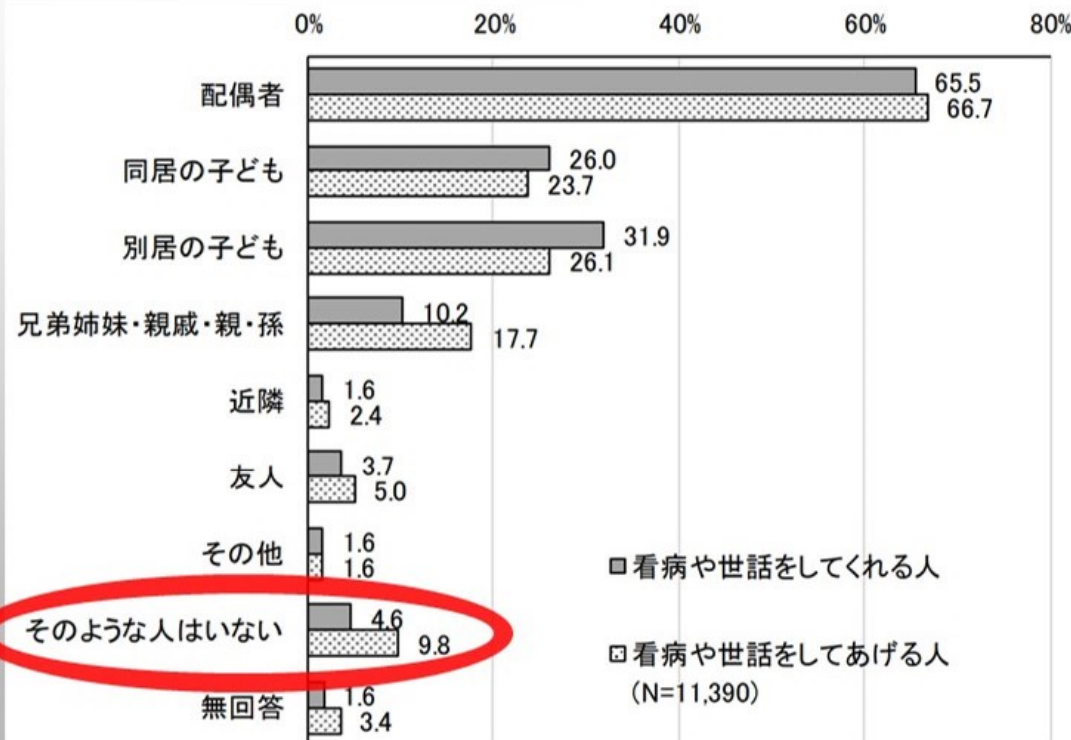
入院や施設入所していない

- ① 約 200名の単独高齢者
- ② 約 100以上の高齢世帯

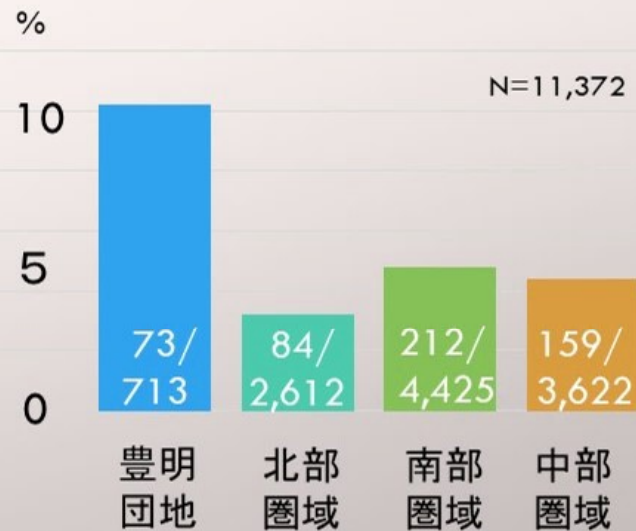
問5-6

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(〇はいくつでも)



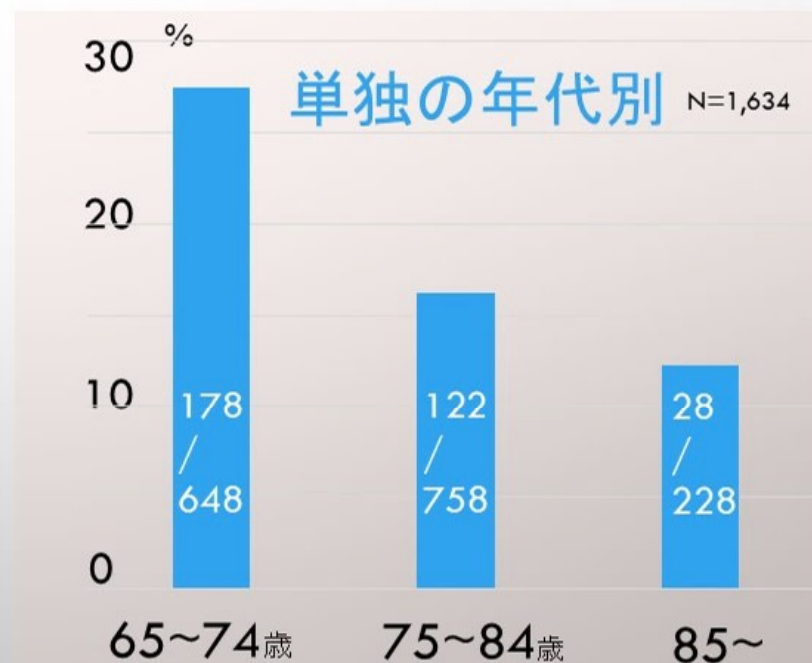
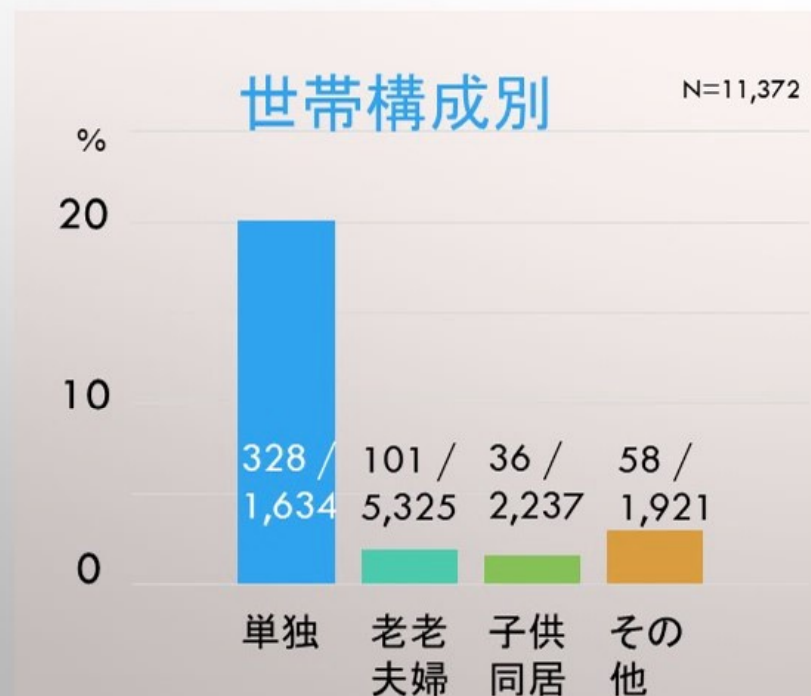
「そのような人はいない」と回答した割合と人数



問5-6

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
(〇はいくつでも)

「**そのような人はいない**」と回答した割合と人数

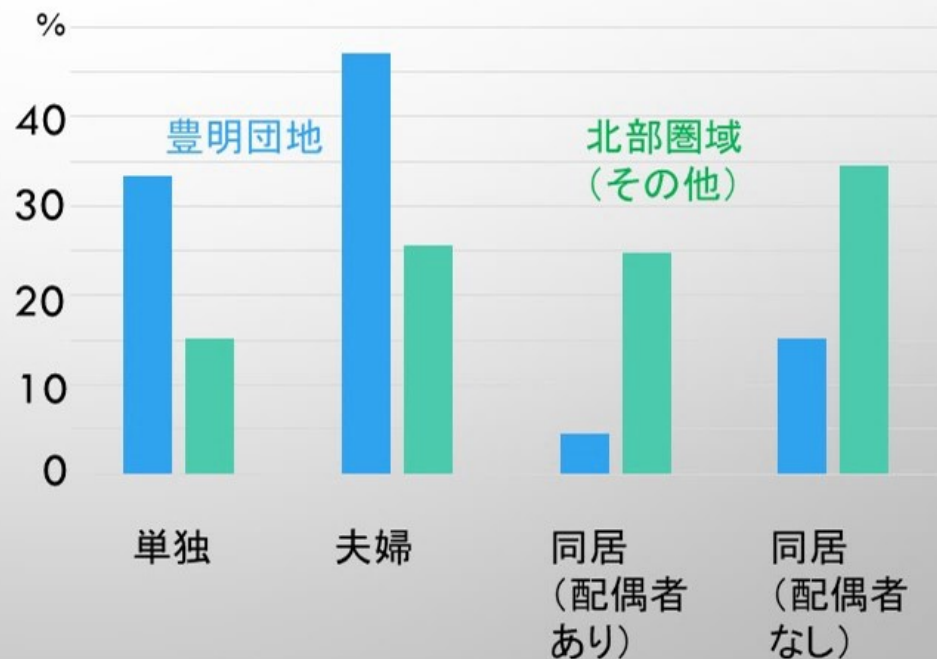


在宅介護を受けている方

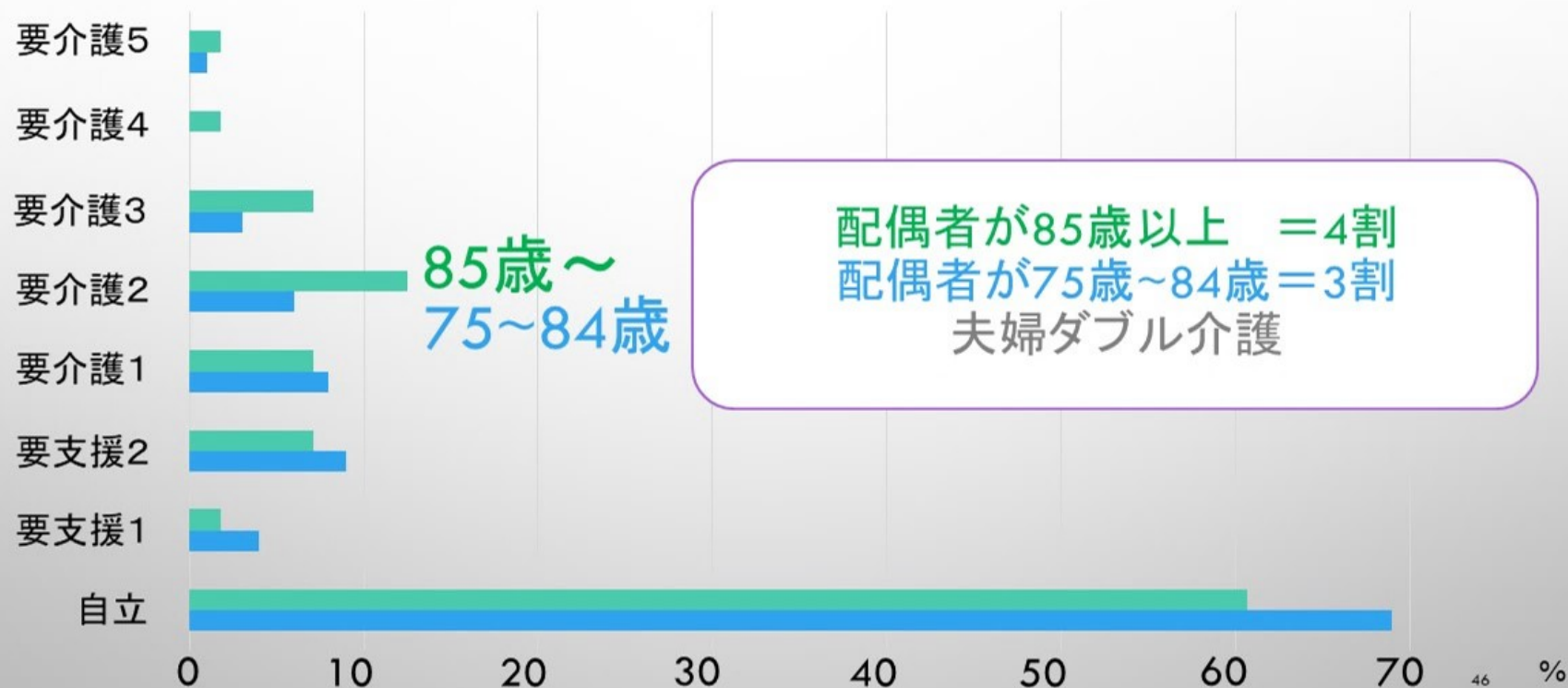
「介護認定の上位3地区」



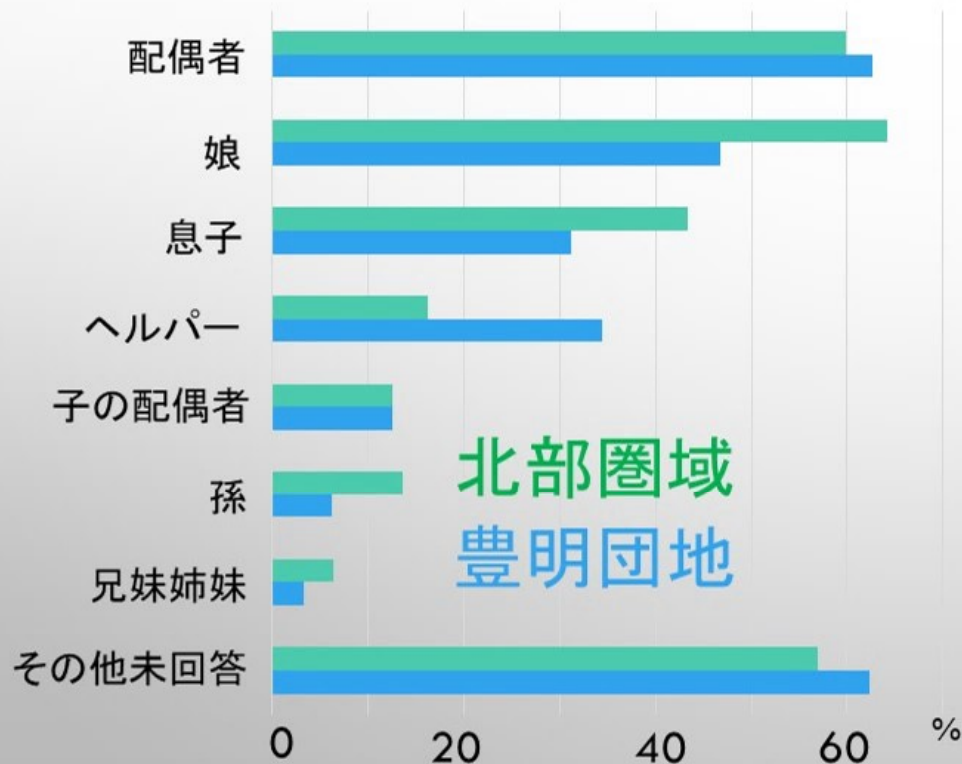
「世帯構成」



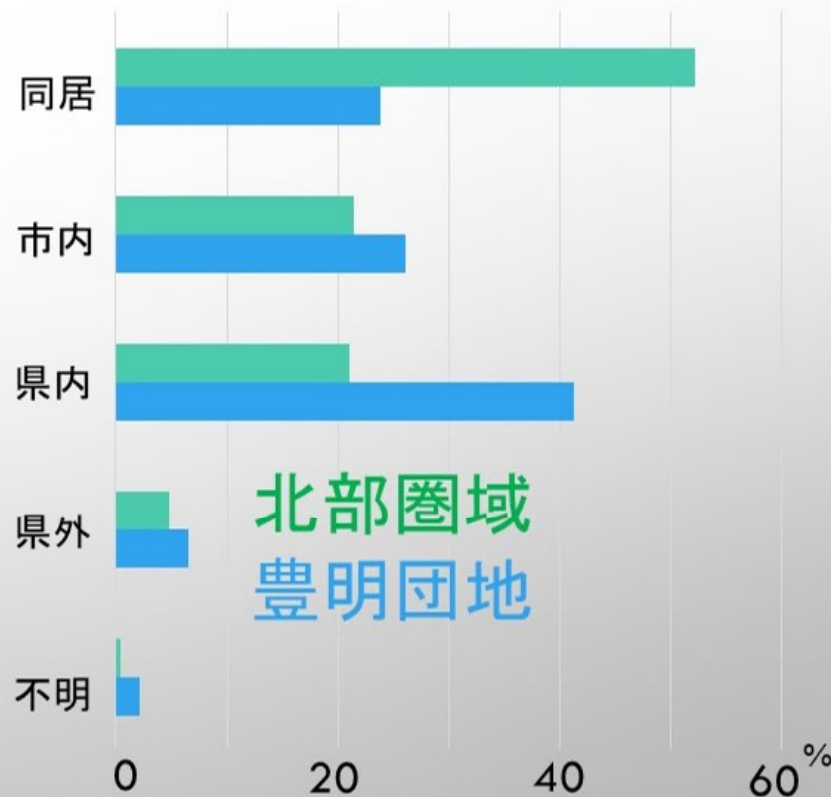
「同居の配偶者の介護度」



主な介護者が配偶者以外 一体誰がみているか？



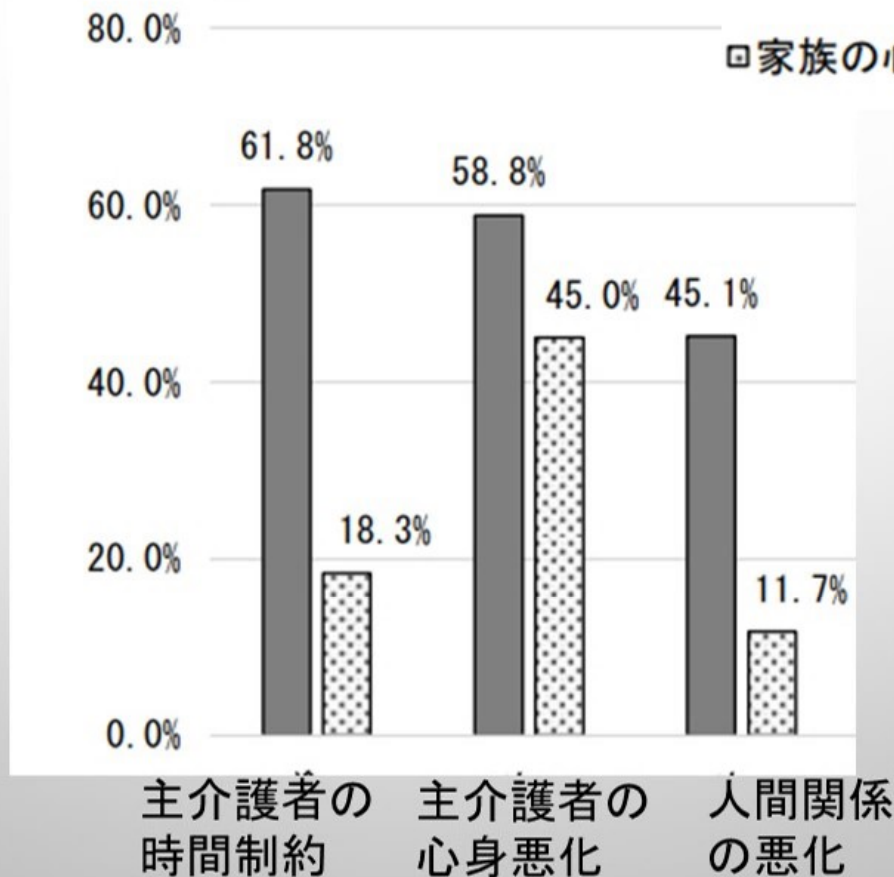
主な介護者の居住状況

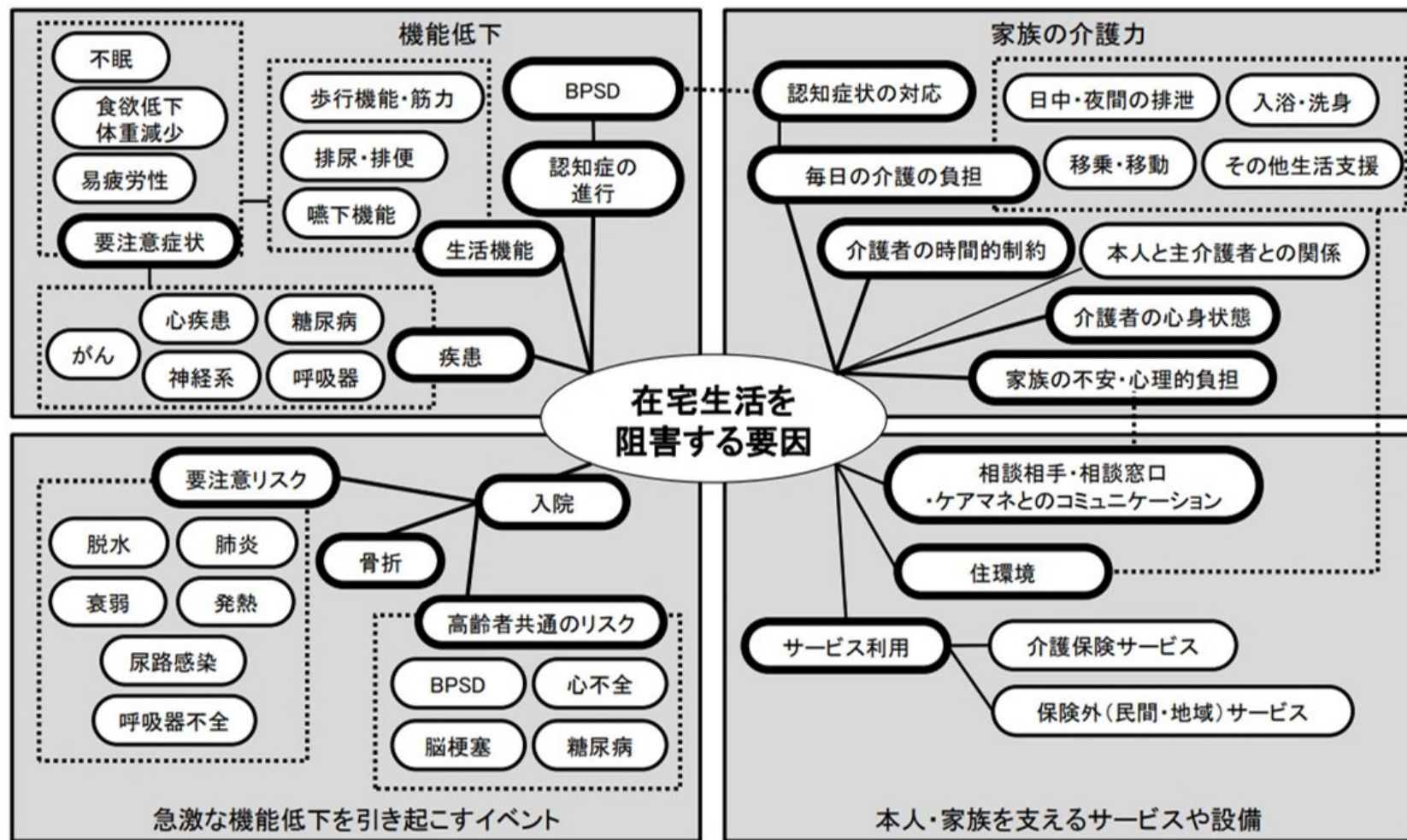


家族間のギャップ

■ 家族の心理的不安選択有 (102人)

□ 家族の心理的不安選択無 (60人)





現状から見える課題は何か？

結果 1

n = 11,390

運動器機能 低下リスク

(対象: 元気高齢者)

- 基本チェックリストにて
「低下リスク該当者」は
高齢であるほど多い

95~99歳 (N = 25)

90~94歳 (N = 175)

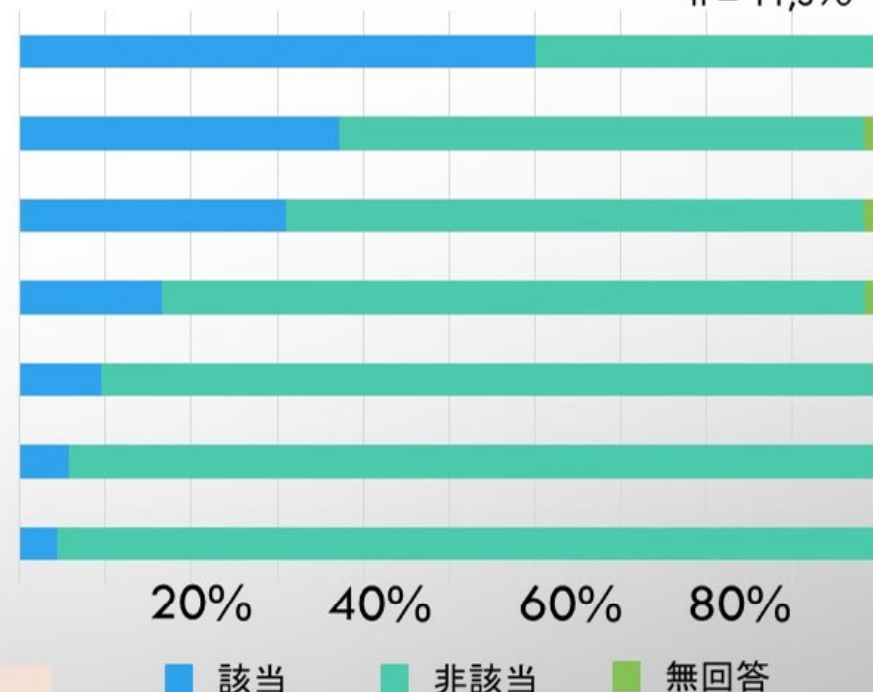
85~90歳 (N = 738)

80~84歳 (N = 1,718)

75~79歳 (N = 2,966)

70~74歳 (N = 3,177)

65~69歳 (N = 2,632)



N = 11,390名

「運動器機能低下リスクあり」の基準

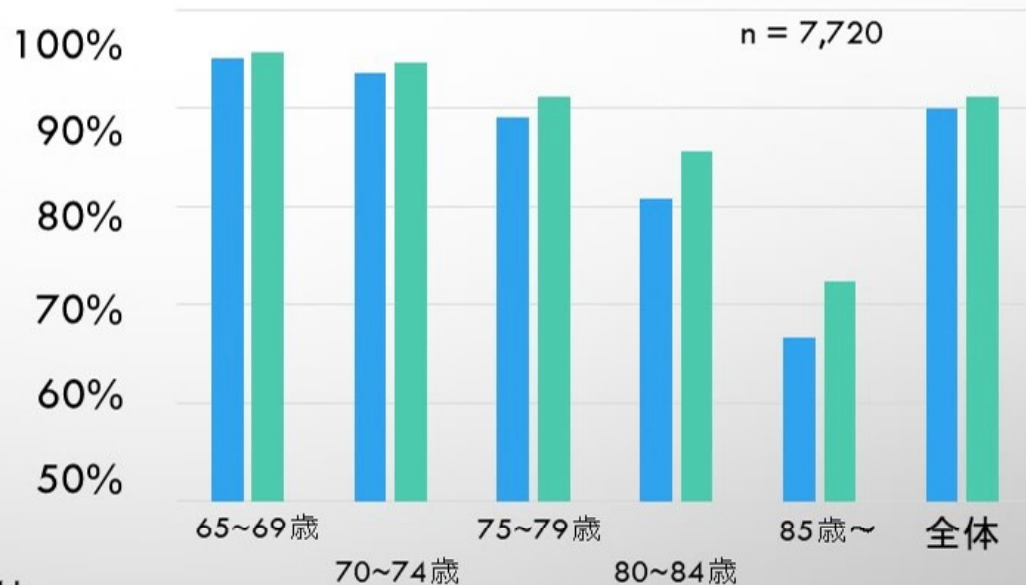
基本チェックリストに準じ、①「階段昇降」、②「椅子からの起立」、③「15分連続歩行」で「できない」と回答した場合、④「過去1年の転倒経験」で「何度も」または「一度」と回答した場合、⑤「転倒不安」にて「とても不安」「やや不安」と回答した場合、5つのうち3項目以上該当した場合を「運動器機能低下リスクあり」とした。

結果2

運動器機能低下の 非該当者割合

(経年変化)

- 全ての年齢区分において、「運動機能が低下していない人の割合」が増加している。
- つまり65歳位上の全年代で運動機能を維持できていることが示唆。



■ 2016年の非該当者割合

■ 2019年の非該当者割合

結果3

- 過去1年間に転んだ経験と、3年後の要支援認定リスク

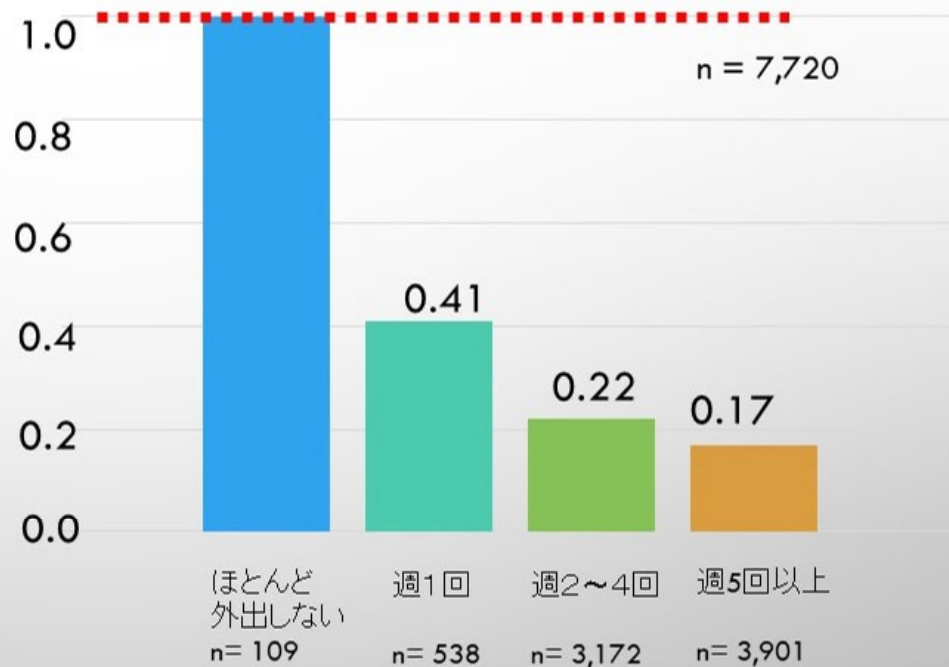
- 2016年調査にて過去1年間に転んだ経験が多い人ほど、3年後に要支援の認定を受ける割合が高い。



結果4

- 外出頻度別 IADL低下リスク
(元気高齢者を3年間追跡)

- 週1回以下の外出
全体の8.4%



N=7,720名(男性 3,573名 女性 4,147名)

ロジスティック回帰分析

目的変数: 2019年手段的日常生活低下
(老健式活動能力指標手段的自立低下 4点以下)

説明変数: ほとんど外出しない、週1、週2~4、5回以上
調整変数: 年齢、性別、家族構成、体重、喫煙歴、疾患、
主観的健康感、2016年時点での手段的日常生活低下

結果5

• 社会参加とIADL低下リスク (元気高齢者を3年間追跡)

• 参加対象

ボランティア、スポーツクラブ、趣味、
サークル、老人クラブ、区・町内会、
収入のある仕事 のいずれか

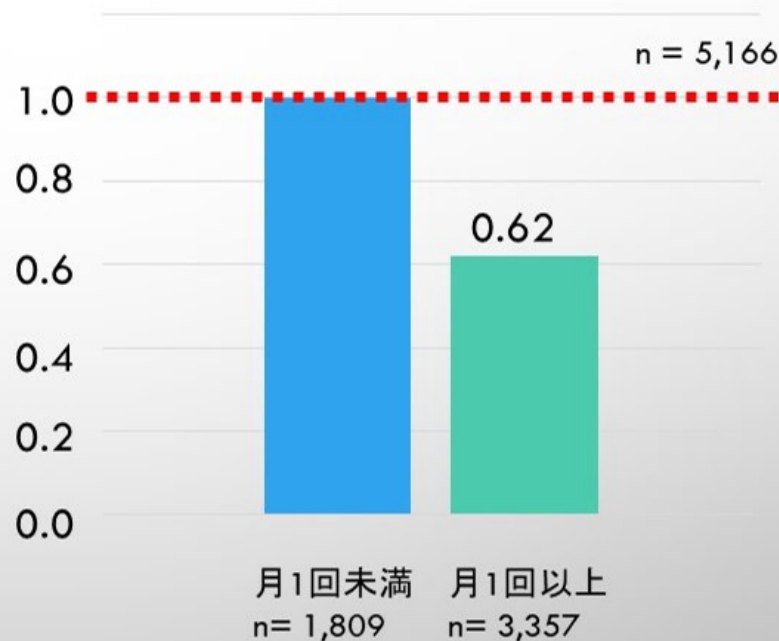
N=5,166名(男性 2,643名 女性 2,523名)

ロジスティック回帰分析

目的変数: 2019年手段的日常生活低下
(老健式活動能力指標手段的自立低下 4点以下)

説明変数: 月1回以上の参加あり、なし

調整変数: 年齢、性別、家族構成、体重、喫煙歴、疾患、主観的
健康感、2016年時点での手段的日常生活低下



結果6

・移動手段とIADL低下リスク

(元氣高齢者を3年間追跡)

・能動的移動手段 (75%)

: 徒歩、シニアカー、自転車、バイク、車(運転)、電車、バス

・受動的移動手段 (25%)

: 車(人の運転)、タクシー

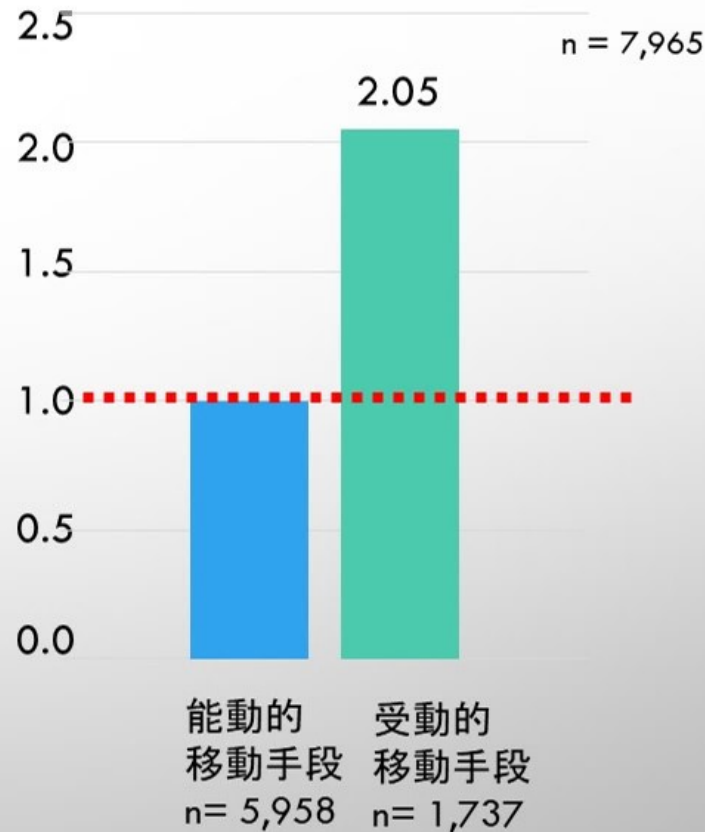
N=7,695名 (男性 3,573名 女性 4,122名)

ロジスティック回帰分析

目的変数: 2019年手段の日常生活低下(老健式活動能力指標手段の自立低下4点以下)

説明変数: 能動的移動手段、受動的移動手段

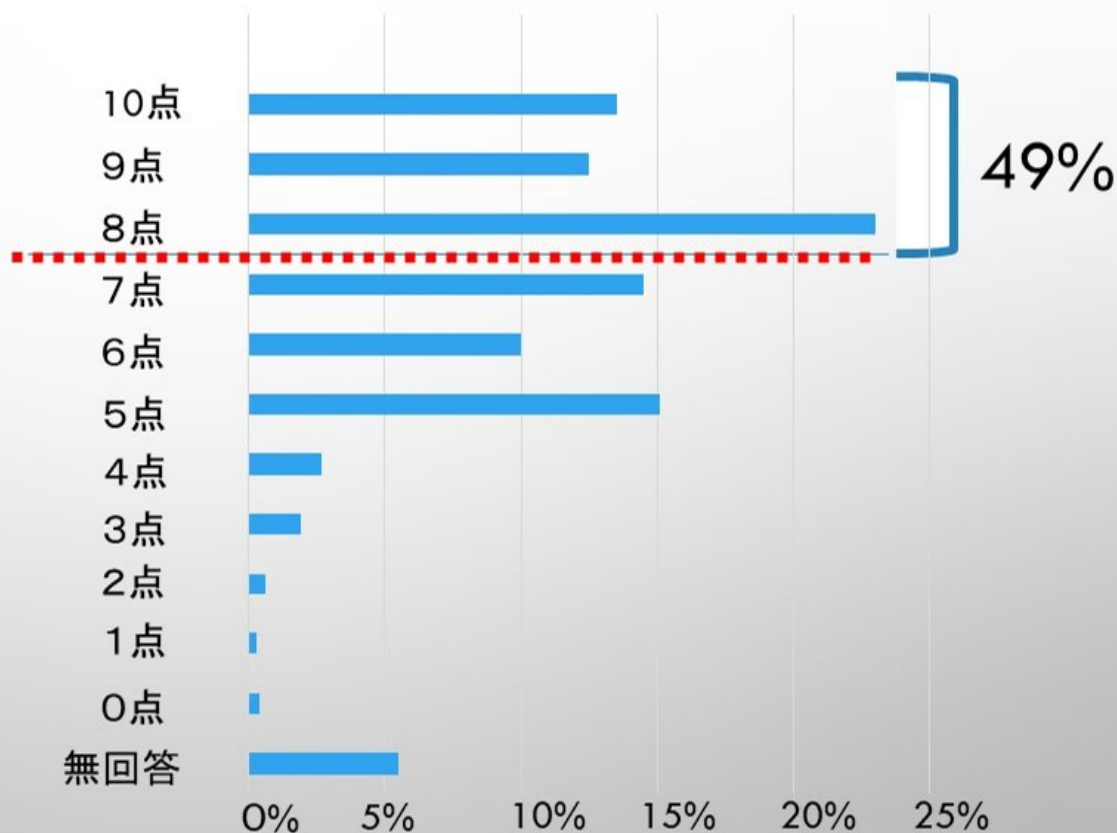
調整変数: 年齢、性別、家族構成、体重、喫煙歴、疾患主観的健康感、2016年時点での手段の日常生活低下



結果7

• 主観的幸福感

- 令和2年の主観的幸福感は10点満点中8点以上が49%であった。
- わずかな関連要因：閉じこもり、口腔、栄養、抑うつ、生きがい・楽しみの有無、周囲とのつながり、認知能力、経済状況



豊明市 健康関連課題の一部

課題

- 1 運動機能低下リスクを低減
- 2 独居や老老世帯の活動的な暮らしの提案
- 3 転倒不安の解消
- 4 魅力的な外出機会の紹介
- 5 社会参加や就労、趣味交流の促進
- 6 安心な移動、受動的移動でも外出意欲を高めたい
- 7 生活支援と幸福感の向上、家族の安心

打ち手の考え方

-]-70歳代の活動を上げる
独居男性:交流、女性:転倒骨折
-]-早期健康チェック(骨密度etc..)
-予防教室 相談 同行外出
-]-外出する意欲を行動に
-自分らしい暮らしの提案
-安心かつ体にも良い移動手段
-家族や誰かとつながる幸せ
-私のための
「暮らしのアテンダント」

これまで

独居者は誰にも相談できず
健康状態が悪化してから発覚



これから

独居者も気軽に相談でき健康状態は離れた家族・関係者も把握



未来の街の姿

これまで

助けてくれる家族にも気を遣う
親族がいないので頼れない



これから

リンクサポーターが生活の様子を
伺い生活支援や地域資源を紹介



人とIT
繋がり
健康寿命
幸せ



AIにより個別評価や優先的な
課題、具体的な行動が明確に

これから

健康に関心あるが情報があふれ、
私に今何が大切かよくわからない

これまで



薬局などで骨密度チェックしITで
医師と共有、健診・運動も積極的に

これから

骨密度が低く食事や転倒に気を
つける？具体的にどうしたら？

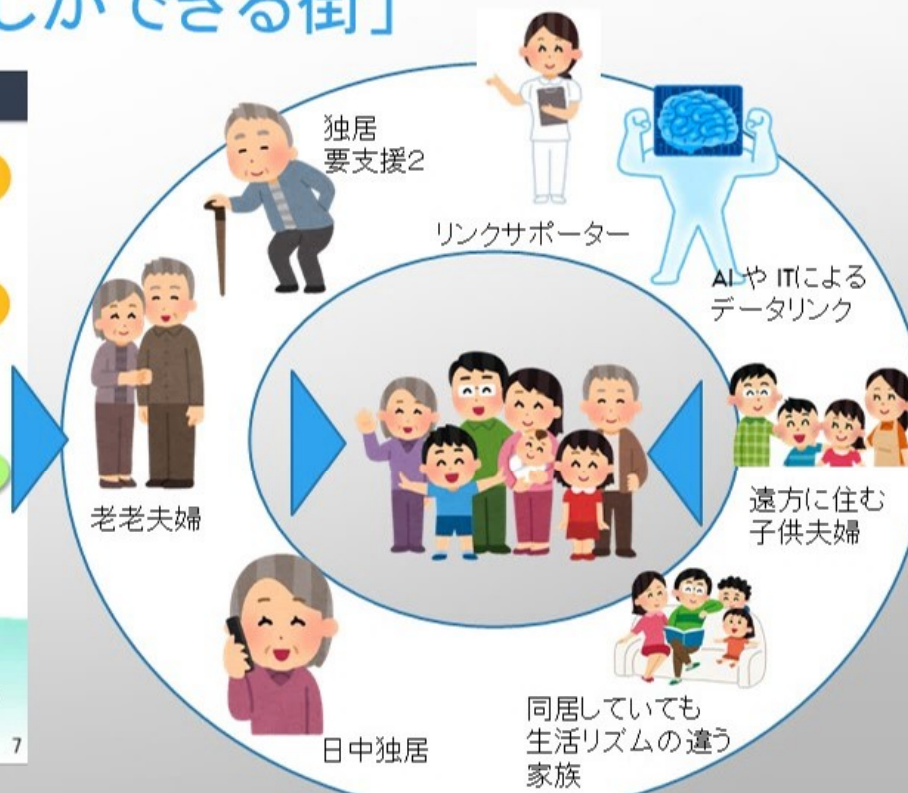
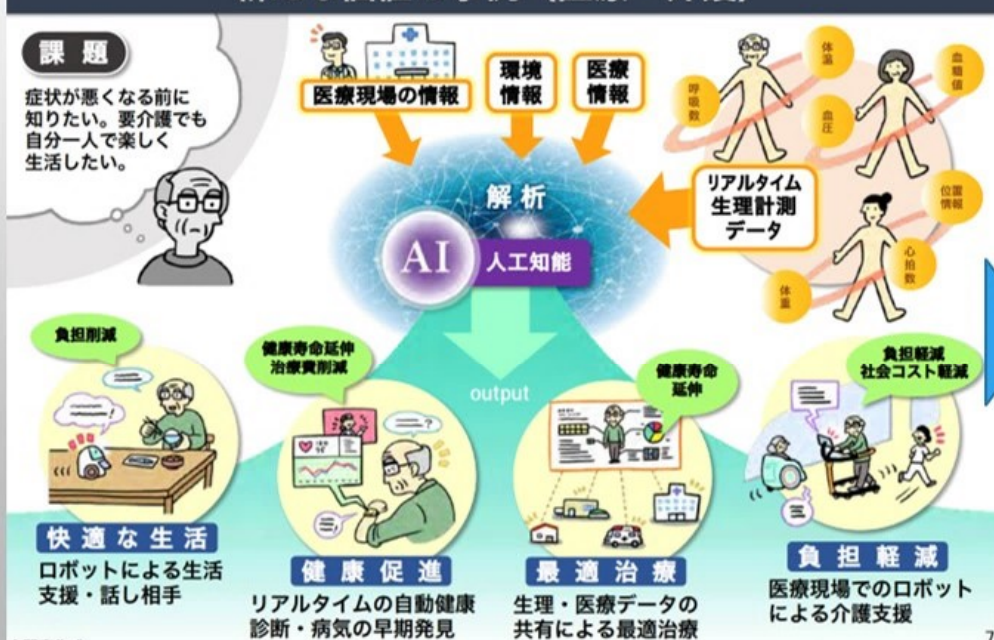


これまで

「家族が繋がる、人とIT技術等が共生する健康街づくり」

「いつも親しい人が同居しているような繋がる安心と自分らしい暮らしができる街」

新たな価値の事例（医療・介護）



リンクサポーター (LS)が重層的に生活の応援

店舗



訪問



オンライン

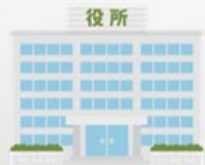


スマホAI

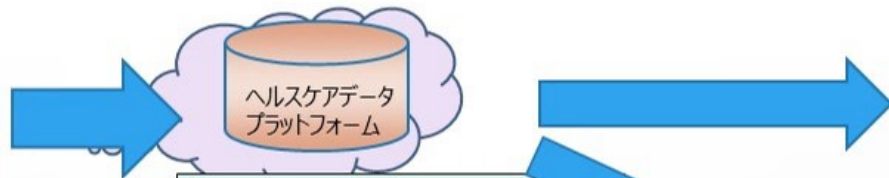




- ✓ 健診結果
- ✓ 健康データ
- ✓ 食習慣
- ✓ 病歴
- ✓ 薬歴
- ✓ 活動（運動）



家や街のどこでも健康測定



AI人工知能
その人の体調に食事・レシピ、
活動（運動）プログラムを提案



離れている家族も安心



ご説明
しますね

リンクサポーター



かかりつけ医



高齢者へよりよい暮らしを
アattendする人材育成と
持続可能な互助文化の創出



地域の体操教室や通いの場

インプット		アクティビティ	初 期 アウトカム	中 期 アウトカム	長 期 アウトカム	インパクト	
どこに・だれに (資源)		どう働きかける (活動)	まずどうなって (活動目標)	何が変わる (成果目標)		ありたい姿 (社会への影響)	
目標 1 「健康寿命を延伸する」各種施策の実施	被保険者	自らの心身機能を維持するための知識・機会の提供	KPI① 自らの心身機能の維持・回復に取り組もうとする被保険者が増える	KPI④ 生きる意欲が高まり毎日やることがあり生活が活動的になる	KPI⑤ 要介護認定を受けるまでの年齢を遅らせる UX	切れ目のない支援（地域包括ケア）の実現 健康寿命の延伸 ふつうに暮らせること（well-being）	
	大学や専門職	本人に対する回復への動機づけ、意欲の喚起（もう一度〇〇したいできるようになりたい）	KPI② ハイリスク者を早期に把握し適切な専門支援がされている	一時的に心身機能が低下してももとの暮らしに戻ることができる	KPI⑥ 身体機能の回復・維持 UX		
		本人の生活目標の達成を重視した支援技術の開発・実践		KPI⑦ 暮らしを維持改善する支援手段や技術が向上する service	KPI⑧ 仕事への誇り支援人材確保 EX		
	民間	暮らしと健康を支えるサービスの提供体制強化	KPI③ ゴールと提供期間が明確になった目標達成型のサービス提供になる	地域社会の中で、虚弱な方への関心が高まり、相互の支えあいが生まれる	より重度者の支援へシフトすることによる介護資源の保全 system		
	地域社会	心身機能の維持を目指した活動を継続できる仲間や機会づくり	介護予防や健康づくりに取り組む地域が増える	高齢者が自らの選択に基づき多様な活動に参加できる環境が整っている	高齢者を支える地域資源の充実 system		
		高齢者の多様な特技、趣味、能力が活かせる活動・参加の場づくり					
	保険者の戦略に基づく実行			保険者が想定した効果			

目標 1

「健康寿命を延伸する」各種施策の実施

被保険者	自らの心身機能を維持するための知識・機会の提供	KPI① 自らの心身機能の維持・回復に	KPI④ 生きる意欲が高まり毎日やることになり生活が活動的になる	KPI⑤ 要介護認定を受けるまでの年齢を遅らせる
本人に対する回復への動機づけ、意欲の喚起（もう一度〇〇したいできるようになりたい）	本人の生活目標の達成	取り組むこととする被保険者が増える	低くてももとの暮らしに戻るることができる	UX 身体機能の回復・維持
本人の生活目標の達成	本人の生活目標の達成	早期に把握し適切な専門支援がされている	暮らしを維持改善する支援手段や技術が向上する	UX 仕事への誇り 支援 人材確保
KPI① 週1回以上参加している市民の介護予防事業の参加者数（ニーズ調査）	KPI② 基本チェックリストや健康チェック利用割合（利用実績）	KPI③ 参画民間企業数、支援目標の数（独自調査）	KPI④ 週1回以上外出している市民の割合（ニーズ調査）	KPI⑤ 健康寿命（KDB）
KPI⑥ 要支援認定者の1年後の重度化率（KDB）	KPI⑦ 民間事業者等による具体的な支援項目数（独自調査）	KPI⑧ リンクサポーターの養成数、配置数（独自調査）	地域社会の中で、虚	EX より重度者の支援へシフトすることによる介護資源の保全
地域社会	高齢者の多様な特技、趣味、能力が活かせる活動・参加の場づくり	取り組む地域が増える	高齢者が自らの選択に基づき多様な活動に参加できる環境が整っている	system 地域資源の充実
				system

健康寿命延伸 KPI指標

健康寿命の延伸

ふじ市で暮らせるこゝろ（well-being）

Society 5.0による人間中心の社会



ご清聴いただき
ありがとうございました

